

コード No. 10351F

**Anti-Human
PDGFR β (22B1) Mouse IgG MoAb (Frozen)**

容量 : 100 μ g (0.1mg /mL, 1.0 mL)

- はじめに : PDGFはA鎖, B鎖, C鎖と D鎖により、PDGF-AA, PDGF-AB, PDGF-BB, PDGF-CC, PDGF-DD のホモおよびヘテロダイマーの形成が報告されています。一方、PDGFRには α 鎖と β 鎖があり、PDGFR- $\alpha\alpha$, PDGFR- $\alpha\beta$ と PDGFR- $\beta\beta$ の3つのホモおよびヘテロダイマーの形成が報告されています。PDGF-AとPDGF-CはPDGFR- α 鎖に、PDGF-BはPDGFR- α 鎖とPDGFR- β 鎖に、PDGF-DはPDGFR- β 鎖に特異的に結合します。すなわち、PDGF-AAとPDGF-CCはPDGFR- $\alpha\alpha$ を、PDGF-ABはPDGFR- $\alpha\alpha$ とPDGFR- $\alpha\beta$ を、PDGF-BBはPDGFR- $\alpha\alpha$ とPDGFR- $\beta\beta$ およびPDGFR- $\alpha\beta$ を活性化します。また、PDGF-DDはPDGFR- $\beta\beta$ のみならず、PDGFR- $\alpha\beta$ をも活性化し得るとの報告があります。レセプターが活性化されると細胞内領域のチロシンキナーゼ活性が上昇し、チロシン残基の自己リン酸化が起こります。
- 本モノクローナル抗体は、ウエスタン ブロットィング、免疫沈降試験により、PDGFR β を認識し、PDGFR β 発現細胞に対するFACS解析も可能です。また、本抗体の添加によって、リガンド結合に依存的なPDGFR β のリン酸化が誘導されないことも確認されており、中和抗体として使用していただけます。
- 免疫抗原 : ヒト PDGFR β の細胞外領域のリコンビナントタンパク質
- 起源 : マウス \times マウス ハイブリドーマ(培養上清)
(X63-Ag8.653 \times BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 22B1 サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : Protein Aによる特異精製
- 包装形態 : PBSに溶解したものを凍結 (BSAおよびNaN₃不含、無菌分注)
- 保存方法及び安定性 : -20°C保存 2年間安定
- 適用 : 中和活性あり (PDGFR β 発現細胞株において、20 ng/mLのリガンド結合に依存的なPDGFR β のリン酸化を指標とした時、10 μ g/mLの抗体添加により中和活性確認)
- : ウエスタン ブロットィング 1~5 μ g/mLにて使用可能
 - : 免疫沈降法 3~5 μ g/mLにて使用可能
 - : FACS解析 0.1~0.5 μ g (1 \times 10⁵ Cellsあたり)にて使用可能
- 特異性 : TIG-7細胞を用いたウエスタンブロットィング法にて特異性確認